



立石峠



国指定天然記念物(植物)
ふなくぼ
船窪のオンツツジ群落

剣山系高越山から奥野々山に通ずる尾根に位置する、面積およそ3haに及び高原状の窪地(標高1,060m)にあるオンツツジを主体とする植物の群落である。群落の構成は、全体の80%以上を占めるオンツツジのほか、トサノミツバツツジ、コバノミツバツツジなどのミツバツツジ類である。オンツツジの株は、大きいものでは1株に20数本の主幹が群がって生え、その^{地上部}策生する幹周りは数m、高さは6mに及びものも少なくない。オンツツジが自然の大群落を形成しているものは他に類を見ず、学術上貴重である。天然の群落であるために年ごとに開花状況の差はあるが、例年5月中旬から下旬にかけて一斉に開花する。



吉野川市指定名勝
ぼろぼろ
母衣暮露滝

落差約30mの滝である。美郷の^{みやま}杵杵山県有林内にある。川田川の水源をなす^{みなと}溪流にあり、下流では国指定天然記念物「美郷のホテルおよびその発生地」指定域内として最も多くホテルの^{ひょう}飛翔が確認されている。山腹の水源地であるために水量は比較的少なく、滝壺はみられない。周辺一帯は硬い結晶片岩の岩盤が露出し、屏風のように連なっている。滝の壁面は、この岩盤が地層に沿って^{はが}剝離することによって形成されたと考えられている。厳寒期には凍結する。



三木家住宅

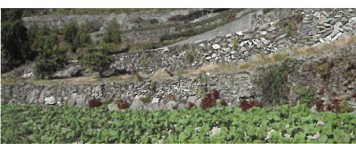


令和の大嘗祭の麻畑



吉野川市指定無形民俗文化財
平八幡神社奉納獅子舞

美郷内で唯一現存する獅子舞である。毎年10月24日の平八幡神社例祭で奉納される。昭和時代初期までは旧暦の9月9日に奉納されていた。昔、穴地地区の穴山家で病気が発生し、魔よけのために獅子頭一對を祀った。僧正がそれを見に来て、病気よけのために獅子舞をするように言われたことから、獅子舞を奉納するようになったと伝わる。創始は文化年間（1804～1818）で、香川県から山川町北島を経てこの地に伝わったといわれている。



谷の四ツ足堂周辺石造物



大棕



西野峰



棕の太木



東槇山藥師堂



吉野川市指定有形文化財（古文書）
谷の四ツ足堂周辺石造物群

光明真言供養塔2基、五輪塔5基、月
基の計12基の石造物群である。道
緯は不明であるが、かつて重榮寺
地は美郷子宮倉100）があったとい
内にあることから、同寺に関連した
群であると推察される。



聖觀世音像彫刻



山崎忌部神社



あらたえ
鹿服出発式
(令和元年10月27日)

